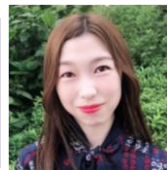


2025年
第64回
教育学部

講演テーマ: 心の専門家による超高齢社会日本の家族介護研究

講演者: 江副 文美 助教 教育発達科学研究科 心理発達科学専攻



教員の講演内容

■ 10:00~
名大教員による講演
■ 11:00~
大学院生による講演
■ 11:40~
質疑応答

2030年、高齢者が総人口に占める割合は30%を超えるといわれており、高齢者介護の問題は今後さらに深刻化していくことが予想されます。私は、当時でも珍しい三世世帯の家庭で育ち、高齢の祖母を家族で介護する中で生まれた“どうしたら、この大変な介護を家族は乗り越えていけるのだろうか?”という自分自身の切実な問いから研究をスタートしました。また私は、公認心理師・臨床心理士の資格を有し、人々の心の問題にアプローチする心の専門家でもあります。本講演では、私がこれまで取り組んできた家族介護研究についてお話ししたいと思います。

■ 研究トピックス

私の専門は、心に問題を抱えた人を援助するための方法を研究・実践する臨床心理学で、研究テーマは高齢者介護をはじめとする家族とケアの問題です。家族介護者への心理的支援のため、これまで①娘介護者、②息子介護者、③嫁介護者、④配偶者介護、それぞれの当事者の方へのインタビュー調査を積み重ね、家族介護者が直面する困難の実態について明らかにしてきました。さらに、近年注目が集まっているものの、研究が圧倒的に不足しているヤングケアラーに関する研究にも新たに着手する予定です。

大学院生の研究内容 ①

所属・専攻: 教育発達科学研究科 教育科学専攻 専門分野: 教育方法学、英語教育学

児童生徒に知識を教える役割が、教師からAIに取って代わられるなど、教師がこれまで担ってきた役割が変化しつつある中、私は、「AI時代に残る教師の役割を解明すること」を目的として授業分析を行っています。具体的には、小学校における授業記録(録画した映像や逐語記録、ノートの写真など)を利用しながら、教師の教授行動とそれに対する児童の反応を分析しています。教師のあるべき姿を教師自身が再認識でき、教師が自信をもって、やりがいを感じて児童生徒に接することにつながるよう、研究を進めています。

大学院生の研究内容 ②

所属・専攻: 教育発達科学研究科 心理発達科学専攻 専門分野: 臨床心理学

臨床心理学とは、心の悩みや問題について理解し支えるための学問です。そのなかでも、私は大切な対象(人や物)を失ったあとの心の状態に関心をもって研究をしていて、特に、様々な気持ちが入り混じったような状態について明らかにしたいと考えています。また、臨床心理学を専攻する大学院生は、研究をするだけでなく、こころの専門家として悩みを抱えた方の相談を担当しています。私たち大学院生がどのような生活を送っているのかについてもお話できればと思います。

2025年
第65回
理学部

講演テーマ: 光る分子をつくるサイエンス

講演者: 山口 茂弘 教授 トランスフォーマティブ生命分子研究所 (理学研究科理学専攻)



教員の講演内容

■ 13:00~
名大教員による講演
■ 14:00~
大学院生による講演
■ 14:40~
質疑応答

化学は、自分で「デザイン」した分子を実際にこの世に生み出せる、とても素敵な学問です。例えば、世界で初めて生み出すオリジナル分子がまぶしいほどの蛍光を放つ「光る分子」であつたら、その輝きはいつまで眺めていても飽きません。でも、化学の面白さはそれだけではありません。その光る分子が、ただ美しいだけでなく、化学を超えて、医療や最先端の技術につながる“鍵”になるかもしれないとしたら? 本講演では、光る分子をいかにつくるのか、そしてそれがどのように生命科学の発展に寄与できるのかについてお話しします。

■ 研究トピックス

名古屋大学理学部は、野依博士や下村博士のノーベル賞受賞に象徴されるように、全国有数の化学研究の拠点として確かな伝統を誇ります。その中で、私たち機能有機化学研究室では、光や電子に関する機能をもつ分子の創出に挑んでいます。特徴的なのは、有機化学の基本元素であるC、N、Oに加えて、B、Si、Pといった元素を自在に組み込んだ分子設計です。私たちが手がける分子で、有機エレクトロニクスやバイオイメージングなど、化学の枠を超えた分野にいかん貢献できるかを追究しています。

大学院生の研究内容 ①

所属・専攻: 理学研究科 理学専攻 生命理学領域 専門分野: 神経行動学

私たち人間を含む全ての動物は、「脳」という神経細胞集団を持ち、それが様々な情報を巧みに処理することで、多様な行動を生み出しています。私の研究対象であるショウジョウバエでは、1mmにも満たない小さな脳が、歩く・飛ぶなどの基本的な行動からメスに対する求愛歌・プレゼントまで、様々な行動を生み出しています。このような行動と脳の関係を調べるため、実際の研究では人工的に特定の神経細胞を光らせてその活動状態を観察する他、脳内の一部の機能を操作して行動がどのように変化するかを調べています。私は「なぜ動物は多様な行動を見せるのか?」という根本的な問いに挑むため、日々研究を続けています。

大学院生の研究内容 ②

所属・専攻: 環境学研究科 地球環境科学専攻 専門分野: 地球物理学

海洋プレートが大陸プレートの下に沈み込むプレート境界部は、地震を引き起こします。このプレート境界型地震には、断層が速くすべる地震やゆっくりすべる地震など複数の種類が存在します。近年の研究により、これらの地震の発生には地下に存在する水(流体)が関与していることが明らかになってきました。しかし、流体の量と地震発生の関係性は未だ十分に解明されていません。そこで私は、この関係性を明らかにするため、学術調査船に乗船して海に向かい、観測機器を海底に設置して電磁場を測定することで、プレート境界部における流体の分布を調査しています。

『名大研究室の扉』申込方法

受付開始: 7/26(土) 12:00~各実施日4日前まで

裏面記載の『『個人情報保護に関する事項』について』に同意されたうえで、以下のWebサイトからお申込みください。

- お子様のお名前・ご連絡先で登録・お申込みください。
- 定員になり次第、受付を締め切らせていただきます。

Web インターネット申込

パソコン・スマートフォンから
<https://www.kawai-juku.ac.jp/event/spc/tokai/meidai/>



河合塾 名大研究室の扉

検索

当日のご案内

- 事前にお申し込みされていない方は、入場をお断りします。
- 当日は開始20分前より受付を開始します。
- 講演会会場(教室)は、校舎ロビー等の掲示板にてお知らせします。
- 筆記用具をご持参ください。
- ご来塾の際は、公共交通機関をご利用ください。